

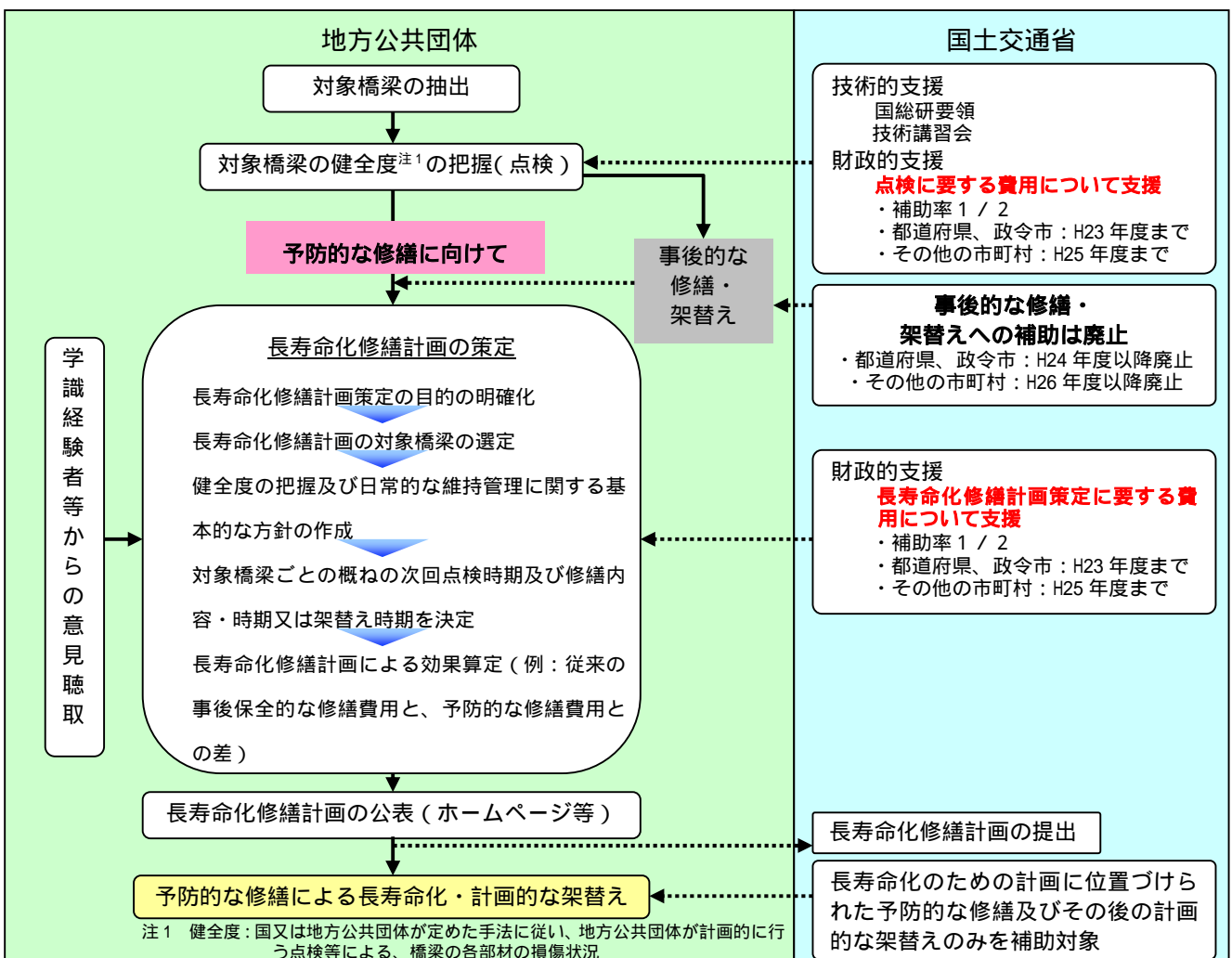
□ 橋梁長寿命化修繕計画策定業務

わが国では、高度経済成長期に建設されたインフラ構造物が多く、その蓄積である道路のストックも今や膨大となるなか、公共投資削減という制約の下で、これらを良好に保全することが、従来にも増して求められています。

弊社では、ここに紹介する『橋梁長寿命化のための点検業務』ならびに『橋梁長寿命化修繕計画策定業務』等を手がけており、今までの経験を生かしながら、橋梁の効率的・効果的な維持管理計画策定のお手伝いをいたします。

1 橋梁長寿命化修繕計画とは？

橋梁長寿命化修繕計画とは、地方公共団体が管理する、今後老朽化する道路橋（以下「橋梁」という。）の増大に対応するため、地方公共団体が長寿命化修繕計画を策定することにより従来の事後的な修繕及び架替えから予防的な修繕及び計画的な架替えへと円滑な政策転換を図るとともに、橋梁の長寿命化ならびに橋梁の修繕及び架替えに係る費用の縮減を図りつつ、地域の道路網の安全性・信頼性を確保するための計画です。国土交通省では、当該計画策定にあたり、地方自治体への財政的な支援および技術的な支援を行っています。



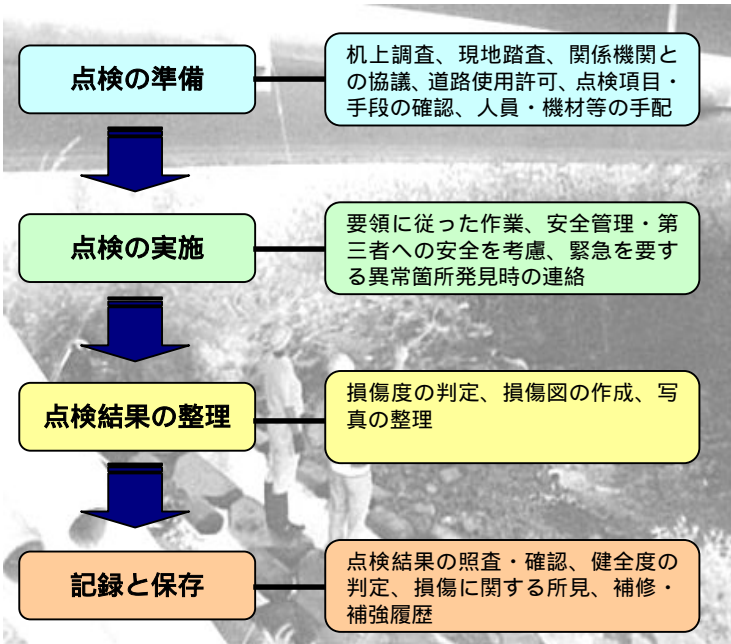
長寿命化修繕計画策定の流れと事業費補助制度の概要

2 橋梁長寿命化のための点検業務

点検業務においては、長寿命化修繕計画の対象橋梁について健全度を把握するため、「道路橋に関する基礎データ収集要領（案）」（平成19年 国土交通省国土技術政策総合研究所）に示される点検項目に基づいて点検を行います（必要に応じて、点検項目の追加をご提案します）。

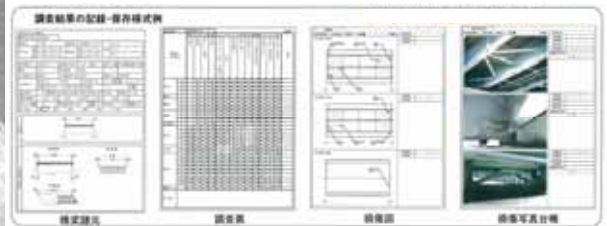
点検結果は、点検した橋梁ごとに諸元、健全度の判定結果、損傷図、損傷写真等の整理を行います。

なお、点検結果の記録と保存については、情報の客観性、共有性、効率性を考慮し、弊社独自開発システム等を活用して電子データ化を図ります、



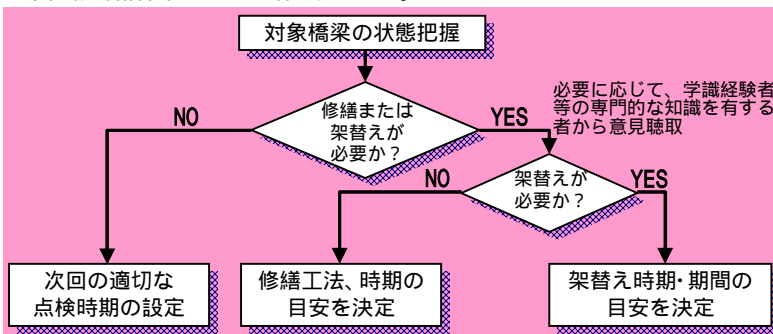
基礎データ収集要領（案）による調査項目

調査項目	調査箇所	遠望	近望	備考
腐食	桁端部			
亀裂	桁端部			
ボルトの脱落	全体			
破断	全体			
ひびわれ・漏水・遊離石灰	全体			
鉄筋露出	全体			
抜け落ち	全体			
床版ひびわれ	桁端部			
P C定着部の異常	全体			
路面の凹凸	全体			
支承の機能障害	全体			
下部工の異常	全体			



3 橋梁長寿命化修繕計画策定業務

橋梁の長寿命化修繕計画策定にあたっては、前記「2 橋梁長寿命化のための点検業務」に基づき、個々の橋梁ごとに橋梁の諸元（橋種、橋齢など）、過去の補修履歴や環境条件、交通条件等を勘案し、今後の対応について分析を行います。そして、次回の健全度の把握時期または、修繕内容・実施時期及び架替え時期について、管理橋梁の相対的な事業優先順位を検討し、全体的な長寿命化修繕計画リストを作成します。



長寿命化修繕計画リストの例

橋梁の状況の把握、および修繕・架替え等に関する計画立案フロー

